

令和7年度(2025年度)経済環境常任委員会管内視察の概要

- 1 視察日 令和7年(2025年)9月2日(火)
- 2 視察者 経済環境常任委員会(7名)
高島和男(委員長)、南部隼平(副委員長)、岩中伸司、
松田三郎、高木健次、吉田孝平、高井千歳

3 視察の概要

(1) 水上スカイヴィレッジ(水上村)

水上スカイヴィレッジは、平成29年5月にオープンし、新型コロナウイルス感染症の影響もあったが、毎年、利用者1万人程度、合宿及びスポーツイベントでの宿泊者合計も約6,000人程度で推移している。令和6年(2024年)3月に、青山学院大学陸上競技部(長距離ブロック)が初めて合宿を行ったことから、同年7月には、同大陸上競技部と水上村との間で、陸上競技部が公式試合で着用するユニフォームへのロゴ提出契約を結んでいる。

今回の視察では、水上村から、同施設のスポーツ事業を通じた地域活性化の取組み及び施設の運営等について説明を受け、施設を見学した。

同村から、合宿以外にもスポーツイベントにも力を入れており、また、今後は、大学・民間企業と連携し、スポーツを通じた様々な取組みを展開していきたいとの説明があった。



(2) ゼンカイミート株式会社(錦町)

ゼンカイミート株式会社は、平成元年11月に設立され、牛と畜解体事業を行ってきたが、令和2年7月豪雨災害により工場が被災し休業。令和2年7月豪雨により被害を受けた施設などの復旧を支援する「熊本県なりわい再建支援補助金」を活用して高台に移転。令和5年(2023年)8月に新工場が完成し、同年11月より営業を再開した。



今回の視察では、同社の豪雨による被災から営業再開までの経過について説明を受け、施設での業務の流れを記録した動画を視聴した。

同社から、県のなりわい再建支援補助金を活用し、工場再建する方針が決まったが、工場再開までの間、従業員の生活や雇用をどう守るかが一番の課題であり、取引先を中心に、出向希望者に対しては希望先を募り、休業希望者に対しては、雇用調整助成金を活用することで雇用の維持を図った、今後は、ハラール牛肉輸出認定を改めて取得し、インドネシア等への牛肉輸出を進めていきたいなどの説明があった。

(3) 錦町立人吉海軍航空基地資料館（ひみつ基地ミュージアム）

錦町立人吉海軍航空基地資料館は、昭和 18 年（1943 年）に建設が開始され、終戦までの 1 年 9 か月間にわたり運用された、コンクリート製滑走路を有する本格的な航空基地の歴史を語り継ぐ施設として、平成 30 年（2018 年）に開館した。

展示品や資料を通じ、当時を生きた人々の社会生活や文化に触れ、「戦争」や「平和」について考える貴重な施設となっている。

施設内の見学を行うとともに、同資料館から、現存する地下壕の案内を受け、当時の地下施設に係る説明があった。

